

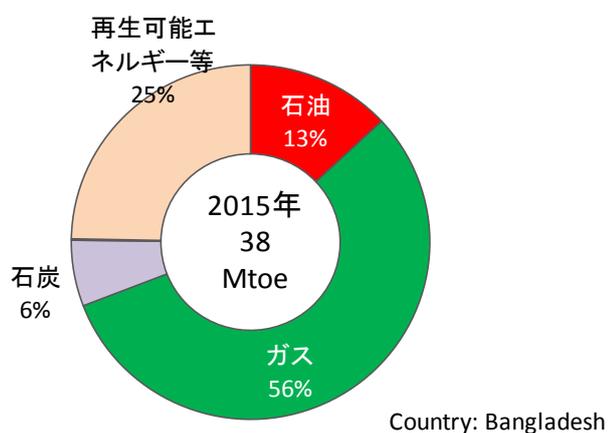
1-19 バングラデシュ

1. サマリー

1. エネルギー事情

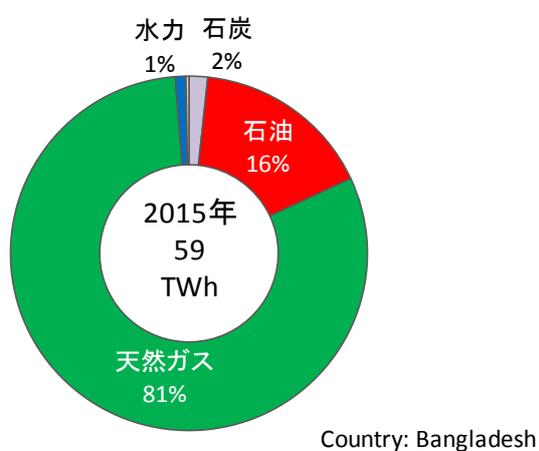
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 38 百万 toe (日本の 0.09 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.24toe (日本の 0.07 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 82%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 70.5 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 6.2%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 0.40 CO₂ 換算 ton (日本の 4.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 天然ガス 7.5 年

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 電力・エネルギー・鉱物資源省 (Ministry of Power, Energy and Mineral Resources) が担当。Hasina 首相が大臣を兼務。同省電力局の下に、持続・再生可能エネルギー開発庁 (SREDA) があり、再エネと省エネに関する政策を担当。

(2) 基本政策

- 天然ガスがエネルギー供給において重要な役割を果たしてきたものの、経済成長に伴う需要の伸びと新規ガス田の開発遅延により天然ガスの需給ギャップが発生しており、経済発展のボトルネックとなっている。このため、LNG 輸入に向けたインフラの整備、石炭など代替エネルギーの利用拡大を目指している。

(3) 最近の動向

- 国内ガスの埋蔵量が枯渇しつつある一方で、旺盛なエネルギー需要の拡大に対応するため FSRU の建設を進めており、2018 年には LNG 輸入国になる見通し。同国初の天然ガス輸入基地は、2018 年 4 月に完成予定。
- 2017 年 4 月、Hashina 首相がインドを訪問し、Modi 首相と会談。原子力発電事業を含む 22 の項目に合意したほか、インドは \$50 億の追加援助を実施することを表明。
- 2017 年 9 月、カタールの RasGas と 2018 年から LNG を 15 年間輸入する契約を締結。最初の 5 年間は 1.8Mton、その後 10 年間は 2.5Mton を輸入する。
- 2017 年 10 月、インドの Jaitley 財務大臣がバングラデシュを訪問、同国の発電を含む 17 のインフラ事業に \$45 億を融資する契約に調印。
- 2017 年 11 月、原子力発電所の初号機が本格着工。1.2GW のロシア型 PWR となる 1 号機、同型設計で建設予定の 2 号機はそれぞれ、2023 年と 2024 年に完成見通し。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本はバングラデシュにとり最大の二国間援助供与国。Matarbari 超々臨界圧波力発電所、「ベンガル湾産業成長地帯 (BIG-B) 構想」の実現に向けた協力を推進している。
- 2016 年 5 月、Hasina 首相は日本を訪問、安倍首相と会談。日本から Matarbari 超々臨界圧石炭火力発電計画を含む第 37 次円借款 (合計約 1,735 億円) の供与を表明。
- 2017 年 7 月、JICA は LNG 輸入設備の建設・運営事業を対象に、プロジェクトファイナンスによる貸付契約を締結。国際金融公社との業務協力にかかる覚書に基づく初の協調融資案件。
- 2017 年 10 月、日本貿易保険 (NEXI) は日本企業が受注した総事業費 5 千億円の Matarbari 超々臨界圧石炭火力発電所・港湾建設案件に対して、貿易保険を引き受けたと発表。保険でカバーする範囲は最大 4 千億円規模となり、NEXI の案件としては過去最大。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Bangladesh

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		38 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.24 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.24 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		82 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		70.5 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.40 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	6 %
	石油	13 %
	天然ガス	13 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	25 %
(8) エネルギーの輸入依存度		18 %
(9) 石油の輸入依存度		94 %
(10) 輸入原油の中東依存度		NA %
(11) 原油の輸入先	第1位	NA
	第2位	NA
	第3位	NA

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA